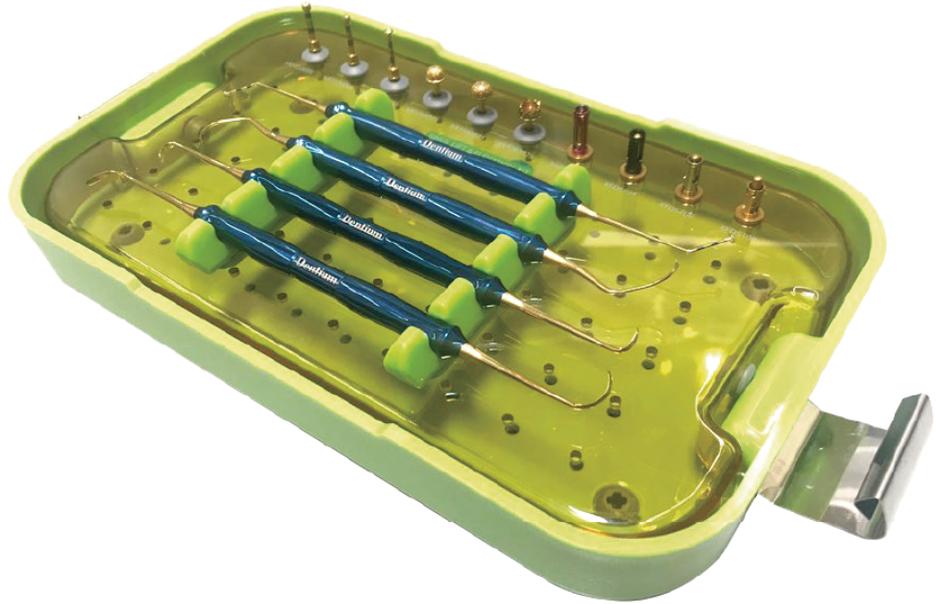


DASK

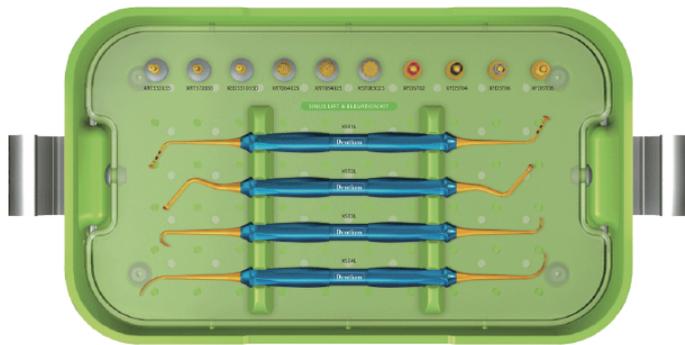
Dentium Advanced Sinus Kit

Catalog & Manual



Dentium

DASK (Dentium Advanced Sinus Kit)

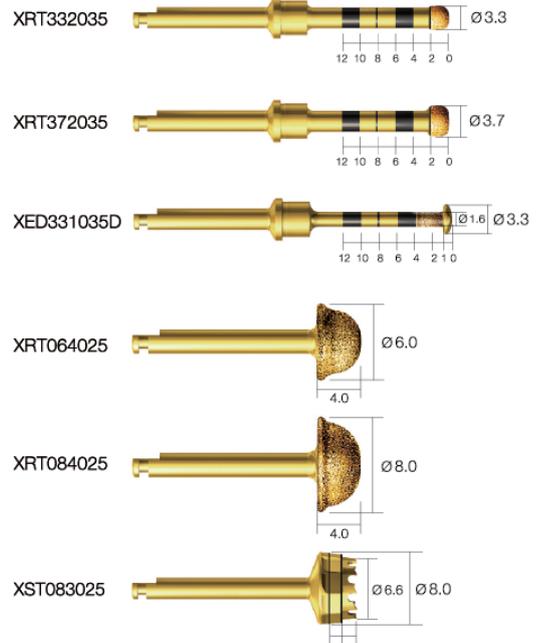


DASK

• サイナスエレベーション インスツルメント



• DASKドリル



• ストッパー



DASK Manual (DASKドリル使用に関する推奨事項)

クレストルアプローチでのドリリング



歯槽堤からサイナスフロアまでの距離は、手術前にX線またはCTスキャンで測定する必要があります。上顎洞底から最大1mmずつドリリングを行います。ドリリングは骨の質に応じて、上顎洞底へ軽い圧力で慎重に近づきながら、DASKドリル#1 (XRT332035) または #2 (XRT372035) のいずれかでいきます。上顎洞底の収量が感じられた際には、ドリリングを中止してください。

(800 - 1200rpm, 30 - 45N.cm, 内部灌漑)

⚠ ドリリングによって発生した過度の熱は、骨の壊死を引き起こす可能性があります。内部洗浄は冷却効果をもたらすだけでなく、サイナスに最初に侵入する際にサイナスメンブレンをわずかに持ち上げるための水圧も与えてくれます。

(800 - 1200rpm, 内部灌漑)

- オプション -

上顎洞に接近する際にDASKドリル #3 (XED331035D) が上顎洞底を持ち上げ、#3ドリルの内部洗浄穴からの油圧で垂直方向に容易に取り外せます。DASKドリル #3は、ラテラルウィンドウアプローチにも使用できます。ディスク下のダイヤモンドコーティングは、吻合部の拡大に役立ちます。

ラテラルアプローチでのドリリング



Thin-outテクニックによってラテラルウィンドウを作る方法

(800 - 1200rpm, 30 - 45N.cm, 内部灌漑)

DASKドリル #4 (XRT064025) または #5 (XRT084025) を使用して、軽い圧力と回転ストロークでラテラルサイナスウィンドウを作成できます。バー (DASKドリル #4と#5) のダイヤモンドコーティング表面は、洞膜穿孔のリスクを最小限に抑えるように設計されています。

⚠ ドリリングによって発生した過度の熱は骨の壊死を引き起こす可能性があります。内部洗浄は冷却効果をもたらすだけでなく、サイナスの最初の進入中にサイナスメンブレンをわずかに持ち上げるための液圧も与えてくれます。

ウォールオフテクニックでラテラルウィンドウを作る方法

(800 - 1200rpm, 30 - 45N.cm, 外部灌漑)

⚠ DASKドリル #6 (XST083025) を使用して、トレフィンバーのように外側の骨ウィンドウを切り離します。制御のされていないオーバードリリングは、サイナスへの侵入および膜への損傷の可能性があります。ドリリング時には外部灌漑が必要です。

Crestal Approach (Sinus Lifting) with SuperLine

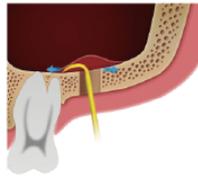
DASK Drills and Elevators



計画された骨切り術部位に適切なサイズのファイナルドリリング後、僅かな低下が感じられるまでDASKドリル #1(XRT332035)またはDASKドリル #2(XRT372035)を用いて残留骨(1mm)を除去



ドーム型のサイナスメンブレンエレベーター(XSE1L)を使用し、サイナスメンブレンを静かに持ち上げる



副鼻腔膜を剥離し、サイナスメンブレンエレベーター(XSE3L)を使用して骨移植に適切な空間を確保する

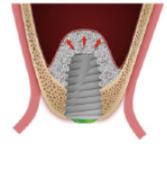


適量の骨移植材を使用し、骨切り術部位の空間を優しく埋める

小さな空間への過量の骨移植は、膜破裂を引き起こす可能性があります。



サイナスメンブレンエレベーター(XSE1L)を使用し作成した空間に、リフティングマテリアルを均等に充填



Dentium Implant(推奨Fixture埋入トルク: 30~40N.cm、20 rpm)を骨切り術部位に埋入

詳細については、インプラント製造業者のガイドラインを参照してください。

Crestal Approach (Sinus Lifting)

Crestal Approach



術前のパノラマ
虫歯と骨量の減少により、#3と#4を抽出が必要



術後のパノラマ



最終補綴物
(ジルコニアセラミックブリッジ)



上顎洞床の皮質骨を薄くするドリルストップを備えたDASKドリル #1 (XRT332035)



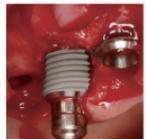
上顎洞床からのシュナイダー膜剥離のために、ドーム型のサイナスメンブレンエレベーター(XSE1L)を挿入



Dentium骨移植材をメンブレン下の空間に充填



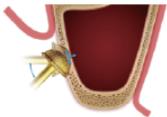
サイナスメンブレンエレベーター(XSE1L)を使用し、移植材を均等に広げる



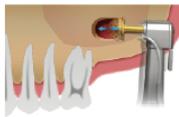
骨切り術部位に埋入されたSuperLine Implant

Lateral Approach (Sinus Elevation)

Thin-out Technique



サイナスメンブレンに到達するために、45度の角度でDASKドリル #4または#5 (XRT064025またはXRT084025)でラテラルウォールを薄くする



骨増強用の適切なサイズと形状のウィンドウに、なるまでDASKドリル #4または#5 (XRT064025またはXRT084025)を穏やかな圧力で近心方向に動かします

Wall-off Technique



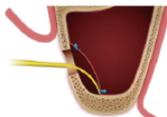
トレフィンバーの様に、DASKドリル #6 (XRT083025)を使用し丸い骨板を側壁から分離する。希望の位置でドリリングを開始し、洞膜の影が見えるまでドリリングを続ける。モルト揺爬器または骨膜エレベーターで骨を隣接する壁から分離して持ち上げる。骨板は骨増強の後に再配置することも可能。

バーからの近いレーザーマークの距離は1.5mm、2番目のレーザーマークは3.0mmです。

注意:過度なドリリングにより、サイナスメンブレンを穿孔することがあります。トレフィンカットの円周の厚さが、非常に大きい可能性があることに留意してください。



ドーム形状を使用して、イナスメンブレンを取り外すサイナスメンブレンエレベーター(XSEL)



サイナスメンブレンエレベーター(XSE4L)を使用してサイナスメンブレンを持ち上げ、移植料の充填に十分な空間を作る



形成した空間に骨移植材を充填



Wall-off Techniqueでは骨増強後に骨板を再配置し、SuperLine™インプラントを埋入

Lateral Approach (Sinus Elevation)

Clinical Case 1: Thin-out Technique (Small window)



術前のパノラマ



術後のパノラマ



DASKドリル #4 (XRT064025)を使用してサイナスの側壁を削り、上顎洞開窓術を行う



サイナスメンブレンエレベーター(XSE1L)を使用し、骨窓の周囲からサイナスメンブレンを剥離



骨移植材充填部位に埋入されたインプラント

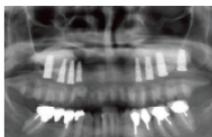


フラップを閉める

Clinical Case 2: Thin-out Technique (Large window)



術前のパノラマ



術後のパノラマ



DASKドリル #4 (XRT064025)を使用し適切なサイズと形状のウィンドウになるまで、近心方向に軽く押しながら側壁の厚さを薄くする



骨の増強を行うのに十分なラテラルウィンドウを作る



ドーム型のサイナスメンブレンエレベーター(XSE1L)を使用しラテラルウィンドウから、サイナスメンブレンを分離



サイナスメンブレンエレベーター(XSE4L)を使用しサイナスメンブレンを持ち上げ移植材に十分な空間を作り、その骨から追加の血液供給を提供するため内壁まで持ち上げる

DASK Maintenance

手動洗浄および滅菌手順

汚れた機材を洗浄する際には、保護服とフェイスシールドを使用することが重要です。安全のため保護メガネ、マスク、手袋などを常に着用してください。

- ・汚染や感染を防ぐため、法的規制と衛生的なガイドラインに従ってください。
- ・医療製品/機器のメンテナンスと滅菌に関しては、個人に責任があることをご了承ください。適切な洗浄、消毒、滅菌手順に従うことが重要です。
- ・ドリルの使用に関する推奨事項(メーカー指定)に従うことも重要です。ドリルの使用回数をチェックしてください。
- ・ドリルの使用量は、患者数ではなく手術部位の数によって決まります。使用量がドリルの寿命を決定します。骨密度に基づき、約20回使用した後にドリルの交換を検討する必要があります。ドリルの磨耗を頻繁にチェックしてください。

洗浄

- 01 使用直後に水道水(<40°C)で最低1分間器具を濯ぎ余分な体液、骨片、組織を含むすべての破片を取り除きます。
- 02 酵素洗浄液で濯いだ後、すべての器具を10~20分間浸します(一晚浸さないでください)。*推奨の洗浄液濃度に従ってください(pHレベルが7~10、温度が40°C以下の酵素洗剤)。互換性のない洗浄液を使用しての機器の洗浄はお控えください。
- 03 内部灌漑ドリルの場合、1mLのシリンジと25ゲージの針を使用し、最低0.2mLの洗浄液でドリルの灌漑穴を洗浄します。このステップをさらに2回繰り返し、合計3回濯ぎます。
- 04 柔らかいブラシで最低1分間ブラッシングし、ドリルの内側から破片を取り除きます。
- 05 水道水(<40°C)を流しながら最低1分間、器具を洗浄します。1mLシリンジと25ゲージの針で最低0.2mLの水道水を使用し、ドリルの灌漑穴内を強く洗い流します。ドリルの灌漑穴の洗浄をさらに2回繰り返し、合計3回洗浄します。
- 06 中性洗剤の入った超音波洗浄器に、器具を入れます**。25~50 kHzの周波数で、機器を超音波槽内に15分間浸します。洗浄機内部に入った器具がしっかり分離されているかを、確認してください。**推奨の中性洗剤溶液の濃度を確認してください(pHレベルが7~10、温度が40°C以下の中性洗剤)。互換性のない中性洗剤溶液を使用しての機器の洗浄はお控えください。
- 07 微量の中性洗剤溶液を含むすべてが除去されるまで水道水(<40°C)を流し最低1分間、器具を徹底的に濯ぐ。ドリルの灌漑穴の内側をさらに2回、合計3回濯ぐ。
- 08 柔らかくリントフリーの布で器具を優しく拭くか、完全に乾くまで器具を乾燥キャビネット(60°C、10時間未満)に置きます。1mLシリンジと20ゲージ針を使用し、ドリルの灌漑穴から残留水を吹き出します。照明の明るい場所で器具が清潔で乾燥し、残留物がないことを確認します。
- 09 器具をキットに戻す前に、器具トレイを殺菌クリーナーで洗浄してください。
- 10 点検および乾燥後は、損傷や腐食がないか常に確認してください。

殺菌

弊社は以下記載の条件下での滅菌用プレバキュームまたは重力オートクレーブ方式のいずれかをお勧めします。但し、オートクレーブの性能は、このプロセスの有効性に影響を与える可能性があります。医療機関では実際に機器を定期的に滅菌する機器とオペレーターを使用し、滅菌プロセスを検証する必要があります。

すべてのオートクレーブ/滅菌器は、EN 285 / EN13060、EN ISO 17665、ANSI AAMI ST79に従って定期的に検証、保守、および確認をしこれらおよび関連する規格への準拠を確保する必要があります。梱包が蒸気滅菌に適していることを確認してください。

方法-湿熱滅菌	プレバキューム	重力
設定温度	132°C	132°C
露光時間	4分	30分
乾燥時間	20分	40分

DASKドリルのメンテナンス期間

骨密度に応じて約20回使用した後、すべての外科用ドリルを新しいものに交換する必要があります。

Dentium 株式会社 BMS JAPAN

DCM-2507

東京本社 〒101-0042 東京都千代田区神田東松山下町39 神田トーセイビル3F TEL : 03-5817-8189 FAX : 03-5817-8609
大阪営業所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島1-9-20 新中島ビル6F TEL : 06-6398-7757 FAX : 06-6398-7756

販売名 : サイナス キット (D A S K) / 一般的名称 : 歯科用インプラント手術器具 / 医療機器製造販売届出番号 : 13B1X10271000021